

CIGS エネルギー環境セミナー
「イノベーションはなぜ途絶えたかー科学立国日本の危機」

日 時	6月20日(火) 16:00 - 17:30
会 場	キャノングローバル戦略研究所 会議室3 (東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル11階)
講 師	山口 栄一 (京都大学 大学院 思修館 教授)
モデレーター	芳川 恒志 (キャノングローバル戦略研究所 研究主幹)
言 語	日本語

講演概要

かつて「科学立国」として世界を牽引した日本の科学とハイテク産業の凋落が著しい。経済の停滞にとどまらず、原発事故のような社会への大打撃を招きかねないイノベーションの喪失。その原因は企業の基礎研究軽視のみならず、政策的失敗にもあったことをベンチャー支援策に成功した米国との比較から解明する。さらに科学の発見からイノベーションが生まれる原理を明らかにし、日本の科学とイノベーション復興に向けた具体的な処方箋を示す。

プログラム

16:00-16:05	趣旨説明 芳川 恒志
16:05-16:45	講 演 「イノベーションはなぜ途絶えたかー科学立国日本の危機」 山口 栄一
16:45-17:30	質疑応答と討論 モデレーター：芳川 恒志

講師紹介

1955年福岡市生まれ。イノベーション理論・物性物理学。京都大学大学院思修館教授。東京大学理学部物理学科卒業。同大学院理学系研究科物理学専攻修士修了、理学博士（東京大学）。NTT基礎研究所主幹研究員、フランスIMRA Europe 招聘研究員、21世紀政策研究所研究主幹、同志社大学教授、英国ケンブリッジ大学クレアホール客員フェローなどを経て、2014年より現職。3社のベンチャー企業を創業。

著書に『イノベーションはなぜ途絶えたか—科学立国日本の危機』（ちくま新書 2016年）、『物理学者の墓を訪ねる—ひらめきの秘密を求めて』（日経BP 2017年）、『イノベーション政策の科学—SBIR の評価と未来産業の創造』（共著、東大出版会 2015年）、『死ぬまでに学びたい5つの物理学』（筑摩選書、2014年）、『イノベーション 破壊と共鳴』（NTT出版、2006年）など。